

11月10日 名古屋港管理組合議会11月定例会 山口清明議員

自衛隊の軍事利用が相次ぐ中、米艦も初の軍事演習での入港 名古屋港を兵站活動の拠点にするな

名古屋港管理組合議会の11月定例会が11月10日に行われ、山口清明議員が一般質問を行いました。

50年で23隻の米軍艦が入港

8月31日、米陸軍がチャーターした輸送船「グリーンレイク (31,905ト)」が飛島ふ頭西側岸壁に接岸。9月4日に米陸軍の兵站支援艦「ハロルドCクリンガー三等准尉 (4,199ト)」が同じふ頭に接岸しました。いずれも滋賀県あいばの演習場での日米共同軍事演習に参加するため、演習に参加するストライカー装甲車などが陸揚げされました。

これまでの米軍艦の入港目的は、建前とは言えあくまでも乗組員の休養や物資の補給、友好・親善のためでした。ところが今回は軍事演習のために兵站活動の一端として名古屋港が利用されました。山口議員の質問に対し「米軍艦船の入港で訓練では初めて。昭和41年の初入港以来50年間で23隻が入港した」と明らかにしました。

自衛隊も軍事演習で戦車などを陸揚げ

山口議員は、「自衛隊も一昨年は北海道からの演習帰りに陸揚げ、昨年は日米共同訓練のために戦車や戦闘ヘリなどを積み込み・陸揚げした。名古屋港が米軍や自衛隊の兵站活動の拠点に変わった来た」と指摘し「軍事利用での艦船の入港を拒否せよ」と迫りました。

また現在1日前にしか入港情報が公開されない米軍に四日市港などのように1週間前の開示をするよう求めました。

2001年以降の名古屋港への米軍艦入港

年	艦名
2001年	フリゲート艦 USS GARY
2004年	旗艦 USS BLUE RIDGE
2006年	旗艦 USS BLUE RIDGE
2007年	ミサイル駆逐艦 PAUL HAMILTON
2008年	ミサイル巡洋艦 SHALLOH
2009年	ミサイル巡洋艦 CHOSIN
2010年	ミサイル駆逐艦 SHOUP
2013年	ミサイル駆逐艦 HIGGINS
2014年	掃海艦 AVENGER
2016年	合衆国被用船舶 GREEN LAKE
	兵站支援艦 CW3 HAROLD C. CLINGER (9/4) (9/25)

名古屋港と四日市港を一体運営する会社づくりを強行するな

一体化は2017年9月11日が期限

特定の港湾を優遇して貨物を集めようとする、国際戦略港湾で京浜（東京・横浜・川崎）阪神（大阪・神戸）で湾に一つの港湾運営会社という方針が押し付けられましたが、東京港は参加しません。名古屋港や四日市港は国際拠点港湾と格が違う港湾に位置づけされています。山口議員は「国際戦略港湾ではない名古屋港が、港湾運営会社制度の路線に乗る必要はない。国には国際戦略港湾政策の再検討を求めるべきではないか」と追及しました。



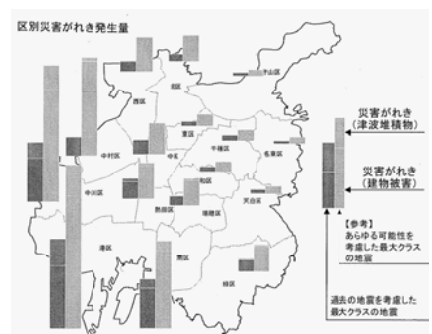
地震や津波に伴う膨大な災害がれきへの対策をたてよ

陸上と水上で想定外のがれきが発生

名古屋市は災害廃棄物処理計画を公表し、南海トラフ巨大地震の発生に伴う災害ガレキの発生量を、最大で港区が227万トン、名古屋市では790万トンと予測しました。津波による影響が大きくなっています。焼却や最終処分場の不足が心配されています。山口議員は「名古屋港管理組合としても災害がれきの対策にどう取り組むか、予測も含めて対策を進めよ」と求めました。



山口議員と大村知事



名古屋市災害廃棄物処理計画 (案) より